

みなとまち新潟  
歴史探訪 54  
問 文書館 ☎025-278-3260

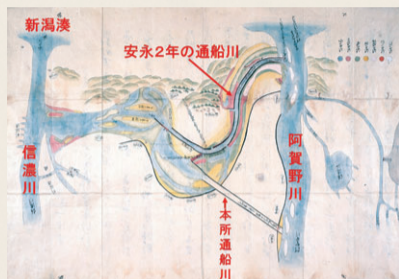
通船川の歴史

阿賀野川は江戸時代半ばまで、現在の通船川とほぼ同じ流路を  
通って信濃川河口にある新潟湊に流れ込んでいました。

享保15(1730)年、紫雲寺潟(塩津潟)などの新田開発を目的  
とした放水路「松ヶ崎堀割」が阿賀野川下流に完成しました。これは元々  
川の増水分だけを海へ流すものでしたが、翌年の雪解け水で堀割が決壊  
したことで本流が変わり、現在の阿賀野川の流路が形成されました。これ  
以降、新潟湊の水量を増やすための工事が実施されましたが失敗が続き、  
元の阿賀野川の流路は狭くなって通船に支障が出るようになりました。

宝暦9(1759)年、本所村(東区)から海老ヶ瀬新田(同)にかけて本所通  
船川が新たに開削されましたが、すぐに砂で埋まってしまいました。その  
ため、安永2(1773)年に元の阿賀野川の流路を生かした川の掘り替え  
工事が行われました。これが現在の通船川です。

信濃川と阿賀野川を結ぶ通船川には  
船が行き交い、明治期には蒸気船が運航  
しました。その後周辺が工場地帯として  
発展すると、通船川は原材料や製品の輸  
送路としての役割を担いました。



安永2(1773)年 通船路出来形絵図  
(新潟市歴史博物館所蔵)



連載



(株)上野 (西区・こんにゃく加工など)

歴史ある企業や店舗を訪ねます。

新潟の郷土料理「えご」

「当社は今年で創業130年。約30年前  
まで大野町商店街で『上野エゴヤ商店』と  
いう名称で営業していました。当時の主  
力商品だったえごは、祝い事の際に振  
舞われるごちそうの一品でした」と博久  
さん。「原料のエゴ草(海藻)は佐渡産で、  
昔は山間部に多く流通していたと聞いています」



お勧めの食べ方を聞くと「からし酢みそが定番ですが、きな粉もスイ  
ツ感覚でおいしいです」と教えてくれました。

こだわりの商品 パッケージを一新

「昔に比べて、えごや寒天が売れなく  
なり、『味は良いのに、どうしたらもっ  
と多くの人に手に取ってもらえるだろう』  
と考えていました。試行錯誤の末、ブラ  
ンドロゴとパッケージを一新。支持され  
る商品になりました」と美佳さん。



「先代から続く味と“一番おいしいもの  
を作る”という信念を守り、『また買いた  
い』と思ってもらえる商品を作っていきます」と夫婦で話してくれました。

代表 上野博久さん、美佳さん



安心・安全な冬を  
雪に備えよう



● 日頃から気象情報を確認しよう

雪や天気などの最新情報を入手しましょう。



新潟地方気象台  
ホームページ

● 水、食料、燃料、薬などを備蓄

大雪時は電気・ガス・水道などがス  
トップしたり、物資が不足したりする  
恐れがあります。水や食料、懐中電灯  
など防災グッズを備えましょう。寒さ  
対策も忘れずに行いましょう。



⚠️ 大雪は災害です

新潟市が備える除雪能力を超えた大雪では、市民生活にさまざまな  
影響が出ます。

- 交通渋滞の発生
- バスや電車の運休や遅れ
- 歩行の危険
- ごみ収集の遅れ
- 電気・ガス・水道などのストップ



雪に備え、日頃から情報収集や備蓄品の準備など  
をし、安心・安全に冬を過ごしましょう。

問 土木総務課 ☎025-226-3017

● 大雪のときは不要不急の外出を控えよう

大雪時は事故や立ち往生が多発します。不要不急の外出は控  
えてください。

やむを得ず外出する場合は、除雪状況などの最新情報を確認  
し、時間に余裕を持って行動しましょう。

■ 新潟市の最新情報

大雪時には、新潟市ホームページや新潟市LINE公式アカウン  
トなどで今後の気象情報や除雪の進捗状況などを発信します。



新潟市ホームページ  
(除雪状況)



新潟市LINE公式アカウント  
(友だち登録追加)



新潟市防災メール  
(登録方法)

■ 公共交通機関の運行状況

各機関のホームページで確認してください。



JR東日本「どことレ」



新潟交通「バス運行情報」



区バス位置情報「e区バス」